



発行 青森県金木町役場 編集 企画室

町の人口と世帯数

人口	男	7,368
	女	7,501
	計	14,869
世帯数		3,606

(S49.12.1現在)



青森県指定無形文化財

奴踊りの由来

今を去ること二百七・八十年前、津軽四代藩主信政公は、領内の開墾に力を注ぎ、武士を投入して屯田兵の仕組で増収を図ることにした。君公の仰せとはいえず、武士としてはずかしめに会ったように志望者も少なかった。しかし、鳴海伝右エ門は妻子と奴徳助を連れ真面目に帰農し、嘉瀬に住みつき、近隣の百姓達と三百町歩を良田にかえました。ただ黙々と開墾に従事すること数年、期限におくれて金木の御蔵に年貢米を納めた際、当時同僚であったものが御蔵の役人として出世しており、彼を見る目が以外にもつめたく、腰抜け武士の典型よと冷笑された。

彼は次第に懐疑的になり、日がたつにつれて沈みがちになった。主人おもしろい奴徳助はこのさまをみて、恵まれない主人をなぐさめようとして思いついたのが次の二連詩だった。

～嘉瀬と金木の

問の川  
石コ流れて

木の葉コ沈む

そして自分で節(ふし)をつけ振りつけもし、秋の取り入れの振舞酒(ふるまいざけ)の席や、月見の夜など自ら踊り主人の不運をなぐさめたのが嘉瀬の奴踊りとなって残されてきたのだという。

「石コ流れて木の葉コ沈む」とは誠実な者は恵まれず、上役に要領よくとり入る軽薄なものがノサルことを暗に言ったものだろうと云われ、いわゆる「この世はサカサマだ」ということを諷刺した農民のレジスタンスを秘めた唄とみてよいであろう。

このことが藩公の耳に入り、視察に巡視した際この踊りをみて、「奴踊り」と命名したといわれている。

秋の叙勲

勲六等旭日章の

荣誉に浴す



金木町消防団  
副団長 太田 治

ことしの「秋の叙勲」は、生存者叙勲に、県内在住者四十六人、県外在住者三人がそれぞれの榮譽に浴されました。  
当町大字喜良市 太田治氏（消防団副団長）も勲六等旭日章の叙勲をうけられました。  
太田氏は、昭和七年喜良市村消防組消防手を拝命以来四十年余の長きにわたり、ただ一筋に消防の重要性に心をかたむけ、消防力の強化と団員の指導育成につくし、

金木町助役に

花田 証義氏就任

去る十一月九日招集の金木町議会臨時会で、金木町長選挙立候補のため辞任された金木町助役が、これまで八ヶ月間の空席となっていました。この臨時議会において、助役、収入役の選任について同意を求めるべく



提案したところ助役については満場一致で可決され、収入役に ついては否決となりました。  
また、選任された新助役花田 証義氏は、明治四十四年生れ、昭和三年 五農卒  
〃 八年 陸軍省経理局勤務  
〃 九年 大蔵省主税局勤務  
〃 十七年より終戦まで、  
軍需省 軍需官  
〃 二十五年 嘉瀬村議一期  
合併により金木町議一期  
昭和三十四年より  
北津軽製材協同組合理事  
(現在に至る)

地域住民の尊い生命、身体及び財産を災害から保護し、社会公共の福祉の増進に努められた功績が認められたものです。  
また、これまでにかずかずの章を授与されましたが、その主なるものは次のとおりです。  
〃 昭和二十八年五月二日青森県消防協会より勲功章  
〃 同三十七年四月二十九日県消防協会より現場功労章  
〃 同四十二年五月三日日本消防協会より永年勤続の功労による勲功章（三十年以上）  
〃 同四十四年五月三日日本消防協会より精績章  
〃 同四十五年三月三日消防庁長官より永年勤続功労章  
〃 同四十五年五月三日県消防協会より功労章  
〃 同四十八年五月三日県消防協会より永年勤続の功労による勲功章（四十年以上）  
〃 同日、日本消防協会より勲功章

格安品に人気集中

好評はくした朝市

「もうちょっと品数を」の声も

異常なる物価高の反映による発想から、町では農家の生産意欲を高め、一人でも出かせぎ者を少なくし生計に役立たせ、また、一般消費者にもいくらかでも安く新鮮なものが求められるようにということから試験的に始めたものですが、意外に盛況で快い好評を呼んでいます。

この朝市は、試験的なものとなつて、週一回（毎週木曜日）朝六時三十分から、旧金木宮林署庁舎で開設しています。  
第一回目は、十一月七日に開設はじめてあつて生産者も多少の不安もあつたと見え、あまり品数も揃わず十分そこそこで売り切れ、早朝からの来場者に少々気の毒な点も見受けられました。第二回第三回と今回は第四回目ですが、

人気を呼び、人出が多くなるにつれ品数も多くなり、なかなかの盛況ぶりです。  
また、当初は十一月いっぱいという開設計画をたてましたが、一部住民の要望もあり、町では生産者代表、一般消費者、農協代表などによびかけ協議した結果、もう一度年末に特別開設する予定です。  
なお、明年からはさらに検討を加え、一層充実したものにし、地域住民の安定した生活の一助としたい計画をすすめる予定です。

県統計大会

金木町に

総理大臣賞

通産大臣より

角田 惣氏にも

昭和四十九年度の県統計大会は十一月二十六日、県農業会館ホールで調査員や関係者など約五百五十人が出席して盛大に行われました。  
この席で、金木町は住宅統計調査功労者として総理大臣賞を、ま

た前統計係長角田惣氏は工業統計調査功労者として通産大臣賞を受けました。

これから来年にかけて、工業統計・農業センサス・国勢調査と各種統計がありますが、町民の皆様のご協力をお願いいたします。



# 労働大臣賞受賞

## 金木共同高等職業訓練校

わが国の産業が発展を続けていくためには、生産に携わる労働者の技能の向上が、科学技術の進歩とともに欠くことのできない必要要件です。

ところが、わが国では今までで歴ばかりを重くみる風潮が強くと

多くの若い人々にはできるだけ上の学校を出ていわずにホワイトカラになるうとします。これは、生産に重要な役割を果たす技能者があまり尊重されず、よい待遇を与えられていないからともいえます。

労働省では、技能者に対する評価を高め、技能を尊重する気風を社会一般に広げるとともに、技能者自身にも十分な力をつけてもらうために職業訓練を盛んにし、また技能検定を実施しています。

当金木共同高等職業訓練校（校長太田昌二）でも、昭和四十六年より開校し、これまでに溶接工二十八名、建築大工八名を県内外におくり出し、技能者の養成に努めたことが認められ、さる十一月一日、職業訓練法人金木職業訓練協会として労働大臣から表彰されました。

お年寄さんに暖かく  
快い語らいの場を

## 老人ホームの改修奉仕

### 金木共同高等職業訓練校

金木共同高等職業訓練校（校長太田昌二）では、寒さきびしいこの冬を、お年寄さん方が出来るだけ暖かく、楽しく過せるようにと

いうことから、お年寄さん方の唯一のお楽しみ場である金木、嘉瀬喜良市の各老人ホームの改修奉仕を行いました。

これは、同校の講師と訓練生が一体となって一部改造、小破修理建具の修理などと、念入りに行われていました。

また、この改修に要した材料費などはすべて同校で負担し、関係者からも大変感謝されています。

## 弘前会場 県農業祭

### “しいたけ”に優等賞

金木 石戸 谷 秀 一

りんご百年記念事業の一環である第十六回県農業祭・津軽広域圏農業祭十一月会期の行事は、二日から四日までの三日間収穫感謝祭や総合共進会などのほか、多彩の催し物がありました。

この農業祭は、県、津軽広域市町村圏および県農協中央会が共催したもので、これまでにない規模

- ▽保存食の部
  - 二等賞 ホッケすし 吉崎キヤ（嘉瀬）
  - 三等賞 むつあさひ 外崎 明（藤枝）
  - 三等賞 ムツホナミ 吉田意智男（蒔田）
  - 三等賞 ムツホナミ 黒滝俊治（蒔田）
- ▽水稲の部
  - 三等賞 むつあさひ 外崎 明（藤枝）
  - 三等賞 ムツホナミ 吉田意智男（蒔田）
  - 三等賞 ムツホナミ 黒滝俊治（蒔田）
- ▽りんごの部
  - 二等賞 ゴールデンデリシャス 夏坂幸子（金木）
  - ▽そさいの部
    - 二等賞 ながいも 中谷福一（川倉）
    - 三等賞 くるみ 今 きぬ（喜良市）
  - ▽しいたけ
    - 優等賞 しいたけ 石戸谷秀一（金木）
    - 三等賞 くるみ 今 きぬ（喜良市）

## 金木共同高等 農業者の 転職訓練について

果では、転職を希望する農業者のために農業者転職訓練を実施します。

これは、現に農業に従事している方または一年前まで農業に従事したことのある方で、農業から他の産業に転職を希望する方が、就職に必要な技術を身につけるための訓練です。

訓練科目は受講者が短期間に技能を習得できるものを主として、各職業訓練校が分校を設置して実施します。

なお、当町金木共同高等職業訓練校では次の要項で実施します。

- 〔訓練期間〕 昭和五十年一月七日から同年三月三十一日まで三ヶ月間
- 〔入校手続き〕 訓練を希望する人は入校願書（町役場産業課、金木共同高等職業訓練校にあります）に、町農業委員会が証明する「証明書」を添えて、町役場産業課または職業訓練校へ申し込んでください。
- 〔授業料〕 一切無料です。入校者のうち資格要件によって、次のような訓練手当が支給されます。
- ◆失保受給有資格者
  - 期間（1月7日～3月31日）
  - 受講手当 一日二八五円
  - 通勤手当 一ヶ月六千円まで
  - 特別手当 一ヶ月二千元



（溶接のみ）

- ◆失保受給無資格者
  - 通勤手当 一ヶ月約三万円
  - 特別手当
  - 〔その他〕 終了後は公共職業安定所が就職をあっせんします。詳しくは町役場産業課または職業訓練校へお問い合わせください。
  - （金木共同高等職業訓練校）

# 農業委員会委員

## 選挙人名簿の登録申請を

(S 50・1・1) (1・10)

毎年一月一日現在により、農業委員会委員選挙人名簿の登録申請書を選挙管理委員会（農業委員会）に提出することになっております。

申請書にもとづいて、名簿が確定されると、名簿に登録されなかった者は、その後一年間名簿に登録されることがありません。

昭和五十年の夏には、

- 1、当該農業委員会の区域内に住所を有する者であること。
- 2、選挙人名簿確定の期日（毎年三月三十一日）に年令満二十才以上の者であること。
- 3、十アール以上の農地について耕作の業務を営んでいる者。
- 4、十アール以上の農地について耕作の業務を営んでいる者と同居の親族または配偶者であつて年間おおむね六十日以上耕作に従事していると農業委員会が認めた者であること。
- 5、十アール以上の農地について耕作の業務を営む農業生産法人の組合員または社員であつて、年間おおむね六十日以上耕作の業務に従事していると農業委員会が認めた者であること。

郵便局（郵政省）では、地方公共団体の財政事情を勘案し、地域住民の福祉の向上と公共施設の早期建設を目的とするため、加入者の簡易保険の一部を立金として還元しています。

当町でも諸施設が早期建設が強く要望されている現状から、この簡易保険の還元を多く行おうとしています。

昭和48年度におきまして、おいては建設の次におきまして、

# 学校・公民館建設などに 多額の融資 ＝簡易保険の積立を還元＝



# オランダの農業

中谷 肇

## 西ヨーロッパ農業視察報告

(その三)

オランダは九州よりもやや小さい国で、人口一二五〇万人、ベルギーとともに人口密度の高い国である。国土の二五パーセントが海面より低く、山岳や森林は少なくほとんどが平坦である。見渡す限りの平坦地に縦横に運河が走り、干拓農業の姿がうかがえる。しかもそれらの農地に点在するイタリアポブラ林（一ヘクタール位づつの用材を取る為の林）。そして広々とした所に放牧された牛やガラス温室の園芸地帯を見ると、オランダは酪農と園芸の農業王国だといふ感じがさせられた。

最初干拓地を見た。干拓地の作り方は八郎潟の干拓と同じように感じられたが、それが膨大で、バスで干拓提防にさしかかると四車線のまっすぐな素晴らしい道が、真一文学に地平線に続き、山の多い日本では想像することもむずかしいような、天に至ると言う言葉がぴったりする提防の道路には驚いた。一九八〇年には二〇万ヘクタールが完成するという。

干拓の作り方は、水をぬいて砂利をしき、その上に土を上げて淡水で塩分をぬき、芦の種をまいて耕して利用する方法で行われるものだ。

次は青果市場と温室を見た。アムステルダムのホテルを出発してクンフオー市經由ブーデークに向かう。牧草地が果てしなく続き、二〇〇頭の牛が群をなして遊んでいる風景に見とれているうち

に、ガラス温室が視界に入ってきた。町の周囲はガラス温室が軒を並べて実にすばらしい。この地帯はオランダのほこる温室園芸地帯で、ガラスの町と呼ばれている。私達の行った時は、トマト・キュウリ・ピーマン・サラダ菜などが収穫されていた。設備は換気・かん水など温度調整が全自動になっている。この温室の建設は日本の会社で作ったものが多いという。この温室地帯の中央には有名なウイストランド市場がある。この市場は生産者の組織で運営され、農民の資本で作られ、毎日集荷量の九〇パーセントまで外国に輸出されているという。セリは品物と別の場所、ダッチオークションという時計に似た表示板を使い、買手は自分の席にある電話でセリが行われる。

オランダは酪農地帯・園芸地帯工業地帯と計画的に分離されているので、行政的にもやりやすく技術も一段と進歩している。

### お願い

異常な降雪を予想される今冬、当町では毎朝ブルドーザーが出動し、除雪作業を行いますから、路上駐車のないようご協力願います。



